

2TPなう

2年7組
クラス通信 No.02
2017/04/28 発行

新しい学年の始まり、慌ただしく日々を過ごしています。始業式での校長式辞から新しい学年をスタートし、校外活動で嵐山散策を行い、気が付けば明日から黄金週間です。ここまでの愉快な仲間たちの様子をお伝えします。

一学期始業式式辞より

皆さんおはようございます。昨年度こういった式典の時に色々な方向から話をしてきました。昨年度は皆さんに夢を持って頑張ってもらいたいというテーマで話をしてきました。今年は違うテーマで話します。高校時代に読んだ小説で印象に残った一節があります。聴いて下さい。ある小説の一節です

「どうせ通れない門ならわざわざここにたどりつのが矛盾である。彼は後ろを省みた。そして到底また、元の道へ引き返す勇氣もなかった。彼は前を眺めた。前には堅牢な扉がいつまでも展望を遮っていた。彼は門を通る人ではなかった。また門を通らないで済む人でもなかった。要するに彼は門の下に立ちすくんで、日の暮れるのを待つべき不幸な人であった。」こういう一節です。実際の小説がこの部分で言っていることとは少しまわるんですけど、状況を



思い浮かべて欲しい。目の前に門があつて、自分ではその門に入っていけない、だからといって後戻りすることもできない。そのために主人公は一人門の前に佇むしか仕方ない、こういう状況。一人では何もできない。で、この状況になった時に、もしここで誰かが来てくれて、一緒にこの門を開けようとしてくれた、あるいはこちらへ来れば、中に入ることもできる別なルートもあるよと教えてくれる、そういう人があるよと現れたら、この人はずっと門の前でしゃがんでいるだけという状況から回避できるんじゃないかと思えます。なぜこんな話をしたかといかな、そういう時にほんの些細な事でも、助けてくれる、手伝ってくれる、相談に乗ってくれる、そういう事があただけで、人は大きく元気になるし、前に進んでいくことが出来る。皆さんにそういう人になって欲しいなということを書いて、今日、高校時代になんという状況なんだと、いまだに私の心の中に残っている、そういう小説の一節を紹介させてもらいました。あと、付け足しになります、春休みに地域の方なのかよくわかりませんが、外部の方から田辺高校に電話がありました。大抵です。外から電話が入るときには、苦情の電話が多い。交通マナーがなっていないぞ、ローソンの裏でたむろしているぞとかいうような、そういう苦情の電話がよく入ります。また今回も苦情の電話がなつというふう

つていたんですけども、内容は、男子ハンドボール部の生徒が電車に乗っているときに、お年寄りに席を譲ってくれた、そのことを見ているか、実際に替わってもらってかもしませんが、なんと素晴らしい教育をされている学校ですか、いうお褒めの言葉でした。多分替わった人にとってみたら、些細な行為だと思わなくて、でもお年寄りにとってみれば、立っていることでもしんどい、疲れるなどで、替わってもらえて、すごく嬉しかったという内容で、まずその状況を見ていた人も、同じように感じたんです。ちよつとした、僅かな、そういう気持ちを大切にしたいなというように思います。最初に紹介した小説の作品はなにかということについては、ここでは話しません。皆さんで興味を持たれたら、図書館に行つて探してください。本校図書館にある本です、分かった人は国語の先生にでもこれですかというように聴いてもらつたらいいです。

いつも思いますが、校長先生のお話は本当に聴いていて自分が改めて考えることが沢山出てきます。今回の小説のタイトル、気になった人、もう調べたい人はいますか。最近の情報網は素晴らしいですね。「どうせ通れない門なら」というように検索をしました。出てきました。夏目漱石さんの書かれた「門」でした。興味を持った人はぜひ図書館で手に取つてみて、校長先生の感じた小説、自分自身が感じるかどうか、この連休、挑戦してみてください。

思い出に残る校外活動

四月二十日(木)、校外活動で第二学年全員で嵯峨嵐山方面に行つてきました。初めての現地集合で、前日までに不安な生徒もいたようですが、当日は仲の



良い友達同士が楽しんでるうちに中之島公園をめざし、電車、自転車集合することが出来ました。昨年の一泊研修もそうでした



が、この時期は雨が多く、これほどの晴天に恵まれたのはきつと愉快な仲間たちの日頃の行いのお蔭ですね。ありがとう。午前中は法輪寺、天龍寺、ト



ロッコ嵐山駅のチェックポイントを班ごとに巡回しつつ、嵐山散策を行い、昼食をレストラン嵐山にてクラス毎に食べて、集合写真を撮影し、午後は自由時間でした。HRにて、京都市内を一望できる岩田山への山歩きを提案すると反応が良かったので、午後からは有志を募り岩田山登山を行いました。



頂上に待ち受けたのは約百二十頭のお猿さん達。とっても可愛くて、とっても元気一杯のお猿さんから沢山元気をもらいました。岩田山名物、檻の中の人間が外にいるお猿さんに餌をやる体験は愉快的仲間達にも大好評でした。

校外活動を終えて・・・

「岩田山も法輪寺も渡月橋もとても景色が良かったからまた行きたいと思いました。昼も京都の味が楽しめました。美味しかったので良かったです」、「国宝で阿弥陀三尊坐像は無心になって見つめると吸い込まれるような気がしました」、「昼食に関して言うと素直においしかったです。IHは実習以外で見るのは初めてでちゃんと熱が伝わっていると思った。(途中略まとめると、校外学習は楽しめたと思います)」、「行けるところまで歩いたら清凉寺があって、全然人が居なくて、お寺の中は涼しくて結構良い感じのところでした。食べ歩きとかもできて思っていたよりもつちや楽しかったです」、「自由時間は予定通り岩田山に登りました。思っていたよりも長い道のりでも足が疲れましたが、頂上からの素晴らしい景色が見えたのが良かったです」、「桜味のソフトクリームは美味しかったです。コロッケも食べました。それにアユも食べたけど、内臓は苦すぎました」、「楽しかったスポットは嵐山モンキーパークです。宇治田原では思ったことのない猿のかわいさを身をもって知り、とても楽しく、えさやりも計三回やっ

てしまいました」

全員の感想を読みました。若干回りたいところが回れなかったという意見もありましたが、大半の意見がここに紹介した感想のように、随分と満足をしてくれたようです。今回の校外学習で良かったことを忘れずに、あかんかったことは次の機会では改善できるように、日々地道に努力を続けることを願います。

担任として・・・

最後になりますが、クラス通信第二号、最後まで読んでいただきありがとうございます。校外活動自分も含めて楽しめたことは良いのですが、若干名の人が十分前行動をすることが出来ず、私に叱られました。二年生としての自覚を求めたい。愉快的仲間たちの校外活動はプレ研修旅行としては不安が残りますが、残された日を使い、研修旅行では誰からも「さすが七組さん」と言われるように、全員が十分前行動の徹底、ルールを守る精神を身に付けよう。明日から始まるGWでは、家族の一員として、お手伝いもしっかりとして下さい。GWも全力で努力できる人であって下さい。

谷口和三

